

南っ子の「国語」・「算数」の力と学習の様子、 そして体力・運動能力の様子

～『H29 全国学力・学習状況調査(2017. 4. 18 6年生が実施)』および『H29 体力・運動能力調査』結果から～

◎は良いところ △は特に伸ばしたいところ

★国語について

①『主として“知識”に関する問題(国語A)』の結果から

- ◎全体的にできています。
- ◎手紙の中で、体験を通して感じたことや分かったことの具体的な内容を読み取ることができています。
- ◎「期限(きげん)」「事務室(じむしつ)」「指示(しじ)」といった漢字を概ね正しく読むことができています。
- △互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら進行に沿って話し合うことに課題がみられます。
- △手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名をそれぞれ適切な位置に書くことに課題がみられます。
- △「参加たいしょう(対象)」「きぼう(希望)者」といった漢字を書くことに課題がみられます。

②『主として“活用”に関する問題(国語B)』の結果から

- ◎全体的に努力を要します。
- △文章中から、話の構成を工夫して話したり、聞き手の反応を見て話したりするなどの、スピーチメモのよさを捉えることに課題がみられます。
- △友達のを説得するための理由になる文を、文章から引用することに課題がみられます。
- △目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで、自分の考えを書いたり、根拠を明確にして自分の考えを書いたりすることに課題がみられます。特に、30～100字等の文字数が多い問題では、無回答率も高く、南っ子の課題です。

これからは 学習した漢字を日常生活の中で使ったり、いろいろな分野の読書をしたりすることが大切です。また、インタビューや学級会活動、活動報告文の作成などをはじめ、国語の時間以外にも、漢字やローマ字の読み書きの他、目的や意図、相手や場に応じて、話したり、書いたりしていくことに力を注いでいきます。

★学習や生活について

「」の質問に肯定的に答えている児童ほど学力調査の正答率が高くなる傾向が見られます。

◇は良い傾向 ◆は心配な傾向

《家庭や地域に関すること》

- ◇「家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校行事に来る。」「読書が好き。」と答えた児童が多くいます。
- ◆「朝ご飯を毎日食べてくる。」「家の人と学校での出来事について話をする。」「スマートフォン等で通話やメール、ゲーム、インターネットをする時間が短い(持っていない)。」と答えた児童が少ないようです。

《自分自身に関すること》

- ◇「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。」と答えた児童が多くいます。
- ◆「友達との約束を守っている。」と答えた児童が少ないようです。

《学校に関すること》

- ◇「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。」「国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。」「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている。」と答えた児童が多くいます。
- ◆「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいとは思わない。」と答えた児童が少ないようです。

★算数について

①『主として“知識”に関する問題(算数A)』の結果から

- ◎全体的に努力を要します。
- △買ったリボンの長さ、1mあたりのリボンの値段、リボン0.4mの代金を数直線上に表すことに課題がみられます。
- △小数+整数(10.3+4)の計算に課題がみられます。
- △高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解し、示された平行四辺形の面積の、半分の面積の三角形を選ぶことに課題がみられます。
- △正五角形は五つの合同な二等辺三角形で構成していることを理解し、円を使って正五角形を書くとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分ければいいのか計算することに課題がみられます。
- △作成途中の直方体の展開図から、残り一つの面の位置を求めたり、円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の角の大きさを求めたりするなど、図形についての理解や技能に課題がみられます。

②『主として“活用”に関する問題(算数B)』の結果から

- ◎全体的に努力を要します。
- △問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、2けたのひき算の答えを簡単なかけ算で求めることができるきまりを、言葉と数を使って書くことに課題がみられます。
- △小さい封筒と大きい封筒で送る場合の料金の差を求めするために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを言葉や式を使って書くことに課題がみられます。
- △問題に示された4本の平行な直線を利用し、ある線分の長さを3等分できる方法を用いて、別の場合に活用することに課題がみられます。
- △問題に示された平均の求め方を用いて、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を言葉や式を使って書くことに課題がみられます。
- △割合を比較するのに適したグラフを選択することに課題がみられます。
- ◎問題に示された『「最小の満月の直径」をもとにすると「最大の満月の直径」は約14%長い』ことを理解し、基準量と比較量の関係を表している図を選択することができています。
- △問題に示された『「最小の満月の直径」をもとにすると「最大の満月の直径」は約14%長い』を用い、「最小の満月の直径」を1円玉にしたときの「最大の月の直径」は何円玉に近いかを選び、その理由を言葉や式を使って書くことに課題がみられます。

これからは 学んだことをもう一度復習をします。また、基礎基本を繰り返し学習しながら、立式する際の根拠や解き方の筋道を明らかにし、それらをノートに書いたり、授業中に発表したりしていくことを大切にしていきます。また、学習した算数の知識や技能を日常生活の中でも活用していく機会を増やしていきます。